

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	九州芸術工科大学	整理番号	J - 1
拠点のプログラム名称	感覚特性に基づく人工環境デザイン研究拠点		
中核となる専攻等名	芸術工学研究科芸術工学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 栃原 裕 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>我々の生活は、近年急速に人工環境に依存する度合いを強めている。しかし、利便性や経済性が優先されるあまり人間本来の感覚特性が軽視されることが多く、例えば、人工照明が人間の生体リズムを乱したり、映像、音響の乱用が神経障害、聴覚障害等をひき起こしたりするなどの問題が生じている。“芸術工学”の理念である“技術の人間化”を標榜する本学は、このような問題に取り組むに適した学際的な研究環境を整えており、人間の生理的・心理的感覚特性に基づいた人工環境を創造するための世界的な研究教育拠点を形成する。具体的には、視覚、聴覚、嗅覚、温熱感覚、体性感覚などについて、「環境生理学」、「知覚心理学」の立場から知見を統合し、それに基づいて、照明、映像、音響、空調、建築物などに関する「感性デザイン」を実施する。これを通して更に、人工環境の総合評価を行い、乳幼児、高齢者、障害者にも配慮した人工環境デザインに関する指針を確立する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>実験研究を基礎にして人間の感覚特性を総合的に評価し、人工環境デザインに適用する試みは特徴的であり、今までの実績や大学の全面的支援も十分である。海外拠点との連携をさらに進め、世界的研究教育拠点になることを期待する。</p>			